

3月議会 決まったこと

条例関係

- 行政不服審査法の施行に伴う条例制定等2件
- 条例の一部改正等13件

第二次総合計画

- 基本構想策定（平成29～38年）

補正予算

- 課の設置条例の改正（情報政策課新設）
- 課の設置条例の改正（情報政策課新設）
- 課の設置条例の改正（情報政策課新設）

財産の取得

- 青部地区土地購入59筆 1万3888㎡
- 2939万8千円

工事請負契約の変更

- 高度情報基盤整備事業付帯工事（京セラコミュニケーションシステム（株））
- 約7122万5千円増額して2億1080万円に

全員賛成で可決

平成28年度予算

- 一般会計予算 62億1700万円
- 特別会計予算 10億1320万円

全員賛成で可決

発議

- 議会の委員会条例の一部改正
- 議会政策課を加える

全員賛成で可決

補正予算

- 一般会計（八号） 3128万8千円追加して予算総額約70億5430万円

全員賛成で可決

- 後期高齢者医療事業 1億2220万円
- 介護保険事業 12億5490万円

賛成多数で可決

- 簡易水道事業 2億1270万円
- 温泉事業 3150万円

全員賛成で可決

- いやしの里診療所 4710万円

全員賛成で可決

- いやしの里診療所 4710万円

全員賛成で可決

- いやしの里診療所 4710万円

全員賛成で可決

反対!! 鈴木議員

大半は町民に必要な不可欠・安心安全の予算で職員の努力に感謝。一方かわねフォン1台月800円、年2千800万円超の利用料負担金はIRU契約の相殺とすべき。合併10年後から地方交付税が減らされ、町民の命と暮らしを守る財源を圧迫する。マイナンバー関連経費も個人の情報漏洩やプライバシー侵害の恐れなど反対の声が強い。若者や企業を呼び込み、観光・交流人口を増すためにもまずは町民が望む子育て・若者支援の拡充が重要なのに消極的。

反対!! 鈴木議員

75才以上の高齢者を他の全ての医療保険から外して県単位で囲い込み、わずかな年金がたよりの高齢者に際限ない値上げと我慢を押し付ける親不孝制度。28年度も県内で一番医療費が低い当町の高齢者に、1人平均千円を超す値上げを押し付け、町や高齢者の努力も認めない欠陥制度による会計。

反対!! 鈴木議員

情報政策室を少人数の課にしても、元々町民の合意で始めた訳ではないかわねフォンへの苦情や要望がますます届かなくなる。今後多大な経費が予測される情報基盤の利活用は、町民の理解と協力をどれだけ得られるかがカギ。

28年度 一般会計予算

賛成!! 中澤議員

平成28年度予算は、「安心して住めるまちづくり」、「農林業が元気で、豊かな経験・自然を生かしたまちづくり」、「交流とふれあいの町づくりを」目指して作成されたものであり、住民の誰もが安心・安全に自分らしくこの町で暮らしていくために欠かせない事業を行うため必要な予算であると考え、賛成とする。

28年度 後期高齢者医療事業 特別会計予算

賛成!! 中澤議員

75歳以上の高齢者が安心して医療機関での医療の提供を受けるため欠かせないものであり、安定した医療制度の維持のため必要なものであると認め賛成とする。

賛成!! 中澤議員

川根本町課設置条例の 一部を改正する条例

平成27年度に完成した高度情報基盤事業の本格的な運用及び利活用を円滑かつ迅速に推進していくために必要な新たな課の設置（組織の充実・強化）であり、必要と認め賛成とする。